

ゆとりのあるトマト生産をめざして！

東三河農林水産事務所農業改良普及課

氏 名 中林 主税^{ちから}さん
経営類型 施設野菜（トマト）
市町村 豊橋市

1. 経営概要

- （１）経営規模 施設 30 a（土耕栽培 20a、養液土耕栽培 10a）
- （２）労働力 家族 2 名（本人、母）
- （３）販売 J A 共選

2. 就農までの経緯

- （１）本人は大学では農業土木を学んでいましたが、父親がトマトを生産できなくなったため、農業を継ごうと決心し、大学卒業後、農業改良普及課に就農相談に訪れました。
- （２）平成 22 年から既存の施設を利用しトマト栽培について学び、平成 23 年に就農認定を受けました。就農施設等資金を活用して 10a のハウスを改修し、養液土耕栽培システムを導入しました。



中林主税さん

3. 現在の取組

現在は、「麗旬」と「りんか 409」の 2 品種を栽培し、それぞれの特性を考慮して、時期ごとに使い分けています。改修したハウスにはマルハナバチを導入し、作業の効率化を図っています。J A 共選のため、常に均一な品質のトマトを出荷することを、特に心がけています。

また、地元の豊橋 4 H クラブに所属し、県連役員を務めるなど、自己研鑽、仲間づくりに努めています。



トマトの生育状況を見る中林さん

4. 今後の抱負

今後、全面積を養液土耕栽培に切り替え土壌に影響されない安定的なトマト作りを目指していきたいと考えています。また、雇用を導入してゆとりのある経営を行い、規模拡大も行いたいと考えています。

Copyright (C) 2016, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.